

平成18年度実績評価事務事業進行管理表

150-485

事務事業名	まちなかインフォメーションセンター管理事業費				財務会計上の位置付け	会計	款	項	目	細目	細々目	19予算額(千円)	
部等名	産業経済部	課等名	観光課		包含する細々目	1	7	1	4	10	12	9,108	
政策	1 多様な産業が発展できる経済力の強いまちづくり												
施策	13 地域内産業の多様な連携												
実施区分	継続	会計	一般会計	環境調整会議	不要	関連計画 条例等		地域経済活性化プログラム					
		事業期間	18年度	～	年度								

【Do】(1)この事務事業は次の目的を達成することを目指します。

目的の記述	対象(人や物、自然資源など)	対象の大きさを表す対象指標名と単位	対象指標の数値					
	飯田下伊那地域を訪れる観光客 飯田下伊那地区の住民	飯田下伊那地域を訪れる観光客数(千人)	現状又は19年度見込	23年度又は終了年度		23年度以前に終了は終了年度とする		
			5110	5935				
	意図(成果は何か、対象をどうかえるか)	成果達成度を表す成果指標名と算定式・単位	成果指標の数値(実績・目標)					
			観光客を増加させる	まちなかインフォメーションセンターから情報発信を行う件数(件)	18目標	最終目標	19目標	10000
			23目標	12000	23実績			
		18実績		19目標				↑
		23目標		23実績				最終目標達成年度

(2)意図を達成するために以下のことを取り組みます。

手段の記述	事業の全体概要(補足説明)	具体的活動内容(やり方、手順、詳細)	活動量を表す名称・単位	活動量の値
	観光課事務所として、まちなかインフォメーションセンターを管理運営する。	インフォメーションセンターの管理運営 ・語り部として観光ガイドを育成する。 ・観光客にまちなか観光プランを提供する。 他の観光案内所やまちなか事業者との連携 ・事業者を含めたまちなか観光の懇談 ・他の観光案内所との連携	まち中観光を進めるために事業者などと懇談を行った回数(回)	3
	18年度の実績			
	19年度計画	インフォメーションセンターの管理運営 他の観光案内所やまちなか事業者との連携	まち中観光を進めるために事業者などと懇談を行う回数(回)	5

<金額の単位:千円>		18決算額(見込)	19予算額(当初)
事業費	特定財源		
	国庫支出金		
	県支出金		
	起債		
	その他		
	一般財源	5,300	9,108
	事業費計(A)	5,300	9,108
人件費	正規職員所要時間	18年度 1,000	19年度 1,000
	臨時職員等所要時間		
	人件費計(B)	3,576	3,576
	トータルコストA+B	8,876	12,684

特定財源内訳や補足事項	
-------------	--

(3)この事業目的の達成は、次の上位(施策や主体の役割)目的の達成に結びつきます。

目的の記述	結果 この事務事業の施策(基本事業)の目的	上位成果指標(施策又はムトス指標)と単位	上位成果指標の数値			
	地域内産業の多様な連携	観光消費額(億円)	現状値	145	19実績	150
			20実績		21実績	
			22実績		23目標	184
	地域経済自立度(%)		現状値		19実績	
			20実績		21実績	
22実績				23目標		

この事業を開始したきっかけ	事業を取り巻く状況の変化	事業に対する市民や議会の意見
飯田市の中心市街地では、りんご並木等の整備に続き再開発事業も一つの区切りを迎えた。飯田市川本人形美術館もオープンを向かえ、まち中の交流人口の拡大を観光に活用する必要がある。	全国各地でまちなかの観光を活性化させようとする動きが出ている。事業者なども観光事業と連携した個性的な活動を展開し始めている。また、地元の観光事業者や宿泊事業者も中心市街地の集客力に関心を寄せてきている。	中心市街地はりんご並木をはじめ、再開発事業などのハード整備を積極的に実施してきており、今後はソフト事業を活用した交流人口の増加に期待を寄せている。

### 【See】18年度の振り返り

目的妥当性評価	この事業の意図の達成が、結果(上位目的)に結びついていますか？	(評価) <input type="checkbox"/> 結びつく (その理由)	有効性評価	成果をさらに向上させる余地はありますか？	(評価) <input type="checkbox"/> 余地がある (その理由) 民間事業者との連携
	対象の見直し、拡大、縮小の必要性はありますか？	(評価) <input type="checkbox"/> 必要性がない (その理由) 対象は地域を訪れる観光客などであり、見直し等の必要性はなし。		廃止・休止した場合の影響はありますか？	(評価) <input type="checkbox"/> 影響あり (その理由) まち中の情報発信の拠点が無くなり、誘客に支障が出る。
	意図の見直しの必要性はありますか？	(評価) <input type="checkbox"/> 必要性がない (その理由) 観光客を増加させることであり、見直しの必要性はない。		他に類似事業はありますか。また統合の可能性はありますか(市以外の取組も含む)	(評価) <input type="checkbox"/> 統合不可能 (類似事業名、理由)
	市が関与する必要性はありますか？(市が税金を投入すべき事業ですか)	(評価) <input type="checkbox"/> 必要ある (その理由) まち中観光をはじめ、中心市街地の交流人口の拡大を通じて観光客を増加させるために行う情報発信拠点の整備は市が関与する必要性が高い。		効率性評価 成果を下げずに、事業費や人件費の削減は可能ですか？	(評価) <input type="checkbox"/> 不可能 (その理由)
			公平性評価	受益者は誰ですか？また、負担の是非、程度は妥当ですか？	(評価) <input type="checkbox"/> 妥当である (受益者とその理由) 交流人口の拡大による受益は広く一般市民まで及び妥当性があるものである。

### 【Plan】改革改善

<b>今後の事業の方向性</b> <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的見直し <input type="checkbox"/> 別事業に統合 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持	何を、いつまでにどうするのかの改革改善案 まち中の観光事業の推進のためにインフォメーションセンターを開設しているが、本格的運用は平成19年度からとなる。今後の利用状況や役割について検証を進めながら方向性を出していく。
上記の改革改善案を実施する際、想定される課題とその克服方法	

#### 【補足事項環境側面】

(1) 環境影響評価の必要性判断	必要性がない	(2) 必要性な場合の実施事由	
(3) どのような点に配慮し事業に取り組みましたか？			

#### 【指摘事項】

施策マネジメント会議	
施策評価会議	
第5次基本構想基本計画推進委員会	